



## 市民の手でつくった人形劇の祭典

喜之助フェスティバルを今年も開催

8月22、23日の2日間、中央公民館で第21回喜之助フェスティバルが開催されました。

このフェスティバルは、本市出身の世界的な系操り人形師・故竹田喜之助氏（1923〜79年）を顕彰し、地域おこしにつなげようと毎年開催されているものです。

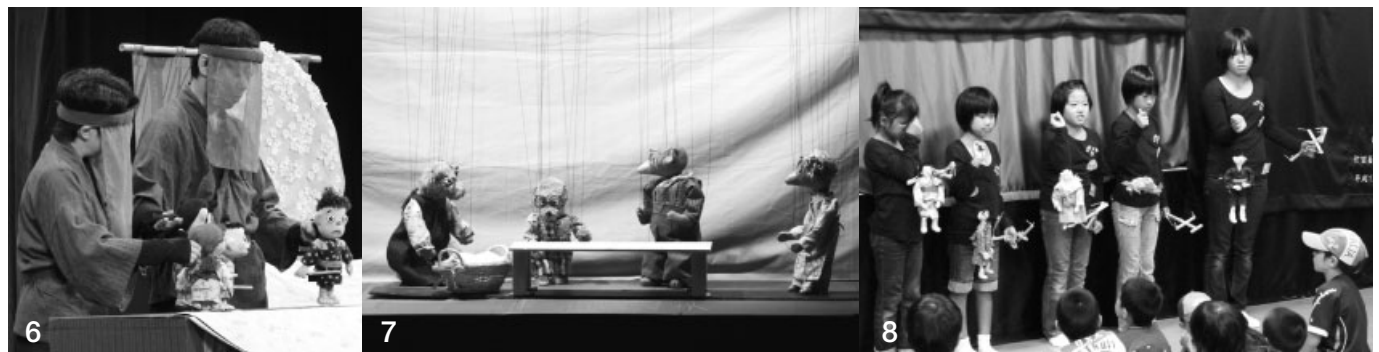
市からの補助金が休止され、開催が危ぶまれる状況でしたが、愛好者の皆さんが実行委員会を設立し、実施しました。

当日は、たくさん家族連れが会場を訪れ、大にぎわい。岡山大学応援団の豪快なエールや子どもたちのヒップホップダンスでフェスが幕を開けると、お目当ての舞台を目指して長い列ができました。

今年は、プロ3劇団、アマチュア7劇団が上演。プロ劇団の巧みな人形使いやアマチュア劇団の個性溢れるステージに大人も子どもも魅了され、人形劇の奥深い世界を堪能していました。



1 まるで本物のように紙飛行機が飛んだ「どんぐり」の『たからもの とんだ』／2 郷愁を誘った「つきみ草」の「ろくべえ まってろよ」／3 「みのむし」の操り人形に子どもたちの目もくぎ付け／4 オープニングを盛り上げたヒップホップダンス／5 フェスを支えたたくさんのボランティア／6 一人で複数の人形を操る「ばんび」の『かさ地蔵』／7 家族の触れ合いを描いた「星の子ざり」の『しゅくだい』／8 愛用の人形を手にあいさつをする「りすっ子」の皆さん



## 地域一丸で地震へ備える

瀬戸内市総合防災訓練

9月6日、邑久小学校グラウンドで地域住民や関係者約500人が参加して、市総合防災訓練が行われました。

大規模地震によって、市内各所で土砂崩れ、家屋の倒壊、火災など甚大な被害が発生しているとの想定で実施。避難誘導、バケツリレー・消火器での初期消火、陸上自衛隊の炊き出しな

ど、関係機関と地域住民が一体となって訓練に取り組みました。

また、岡山市消防へリ、はしご車による高所救出訓練や地震体験車を使った震度6の体験なども行われ、参加者の皆さんは、防災訓練の重要性を再認識していました。



給水作業を行う陸上自衛隊の皆さん

小学校屋上で行われた緊迫感溢れる高所救出訓練



バケツリレーで初期消火。狙いを定めて火点へ放水!



大量の土砂に埋まり、倒壊した家屋からの救出訓練を行う市消防団の皆さん

## 夫婦仲良く、いつまでもお元気で

服部鹿野さんが満100歳に

8月28日に服部鹿野さん（牛窓町長浜）が満100歳を迎えました。

岡崎文明市保健福祉部長や高畑靖明備前県民局健康福祉課長らがお祝いに入所しているあじさいのおか牛窓を訪ねました。

祝賀会には、102歳になるご主人の雄二さんも参加。服部さんは、同部長か



ちょっぴり緊張しながらお茶をいただきました

## 伝統文化を受け継ぐ

第1回「瀬戸内市立邑久中学校 茶華道発表会」

8月22日から30日まで「道の駅」黒井山グリーンパーク ゆうゆう交流館（邑久町虫明）で、邑久中学校生け花部の生徒と卒業生の皆さんによる茶華道発表会が開催されました。

これは、地域との交流の中でこそ日ごろの稽古の成果が発揮されるとの考えから今回初めて行わ

れたものです。

会場には、ススキ、クリ、リンドウなどを使った生け花や、堂々と書かれた条幅・大条幅など約20点の力作が展示。

また、同部の皆さんからお茶とお菓子も振る舞われ、来場者は、日本の伝統文化に触れ、一足早い芸術の秋を楽しんでいました。



雄二さん（左から2人目）と一緒に記念品を受け取る鹿野さん（中央）